

# J'S REPORT



第73期 中間期株主通信

2025.04.01 - 2025.09.30

70年の歩みを礎に、  
「ありたい姿」へ



## TOPICS

新製品紹介

海外展示会出展情報

東京本社移転

# 社長メッセージ

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループは、中期経営計画「JCM Global Vision 2032」に掲げる「ありたい姿」の実現に向け、事業基盤の強化を進めております。現在、最も注力しているのは、海外コマーシャル市場であり、北米・中南米地域の市場開拓に全力を注いでおります。これにより、さらなる事業拡大と企業価値向上を図り、「豊かで持続性のある社会の実現に貢献する企業であり続ける」ことを目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも引き続きご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

2025年12月

代表取締役社長

上東 洋次郎



## 1 中間期連結業績ハイライト

### 当中間期の連結業績は概ね期初の予想どおりに推移

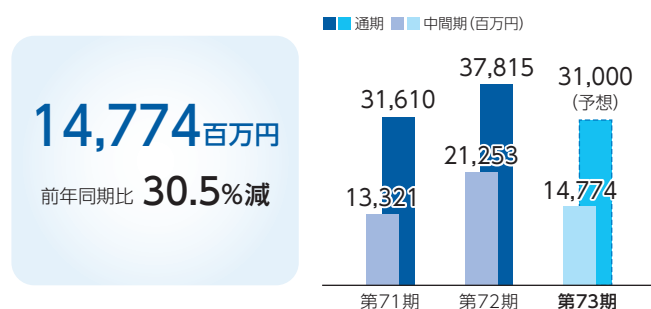
当中間期の経営環境は、グローバルゲーミング市場での北米地域の販売が安定的に推移した一方で、海外コマーシャル市場での大口顧客の在庫調整の継続による販売の減少や、国内各市場での前期の新紙幣発行に伴う更新特需の反動などが見られました。

その結果、前年同期比では売上高及び各段階利益は減少いたしました。売上高につきましては、前々期(第71期)の中間

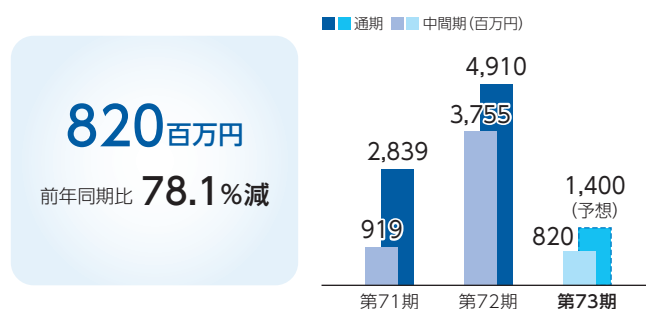
期を上回る水準となるなど、新紙幣発行に伴う更新特需の反動減による影響は終息を迎えつつあるといえます。

なお、資産の効率化や働き方改革を目的とした東京本社の移転に伴い、旧東京本社ビルの売却による特別利益を計上した結果、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比で増加いたしました。

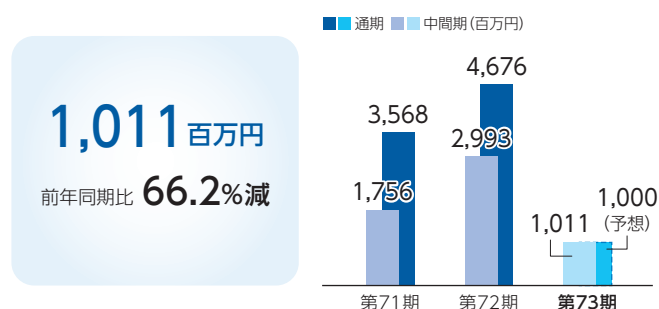
#### 売上高



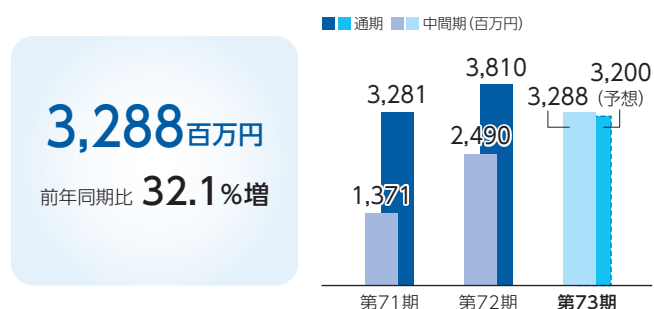
#### 営業利益



#### 経常利益



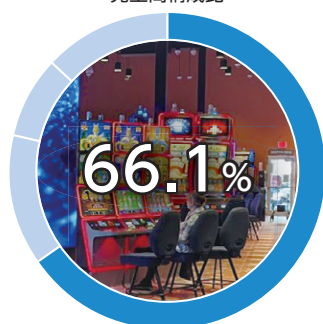
#### 親会社株主に帰属する中間(当期)純利益



## 2 セグメント別概況

### グローバルゲーミング

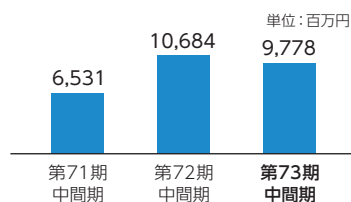
売上高構成比



売上高

9,778百万円

前年同期比  
8.5%減



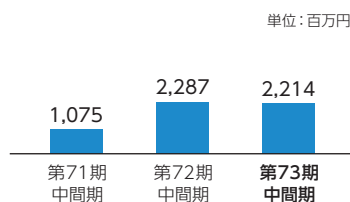
#### セグメント別概況

- 北米地域：ゲーミング機器搭載用の紙幣識別機ユニットの販売が売上を牽引
- 欧州地域：大口顧客の在庫調整が継続したことによる販売の減少

セグメント利益

2,214百万円

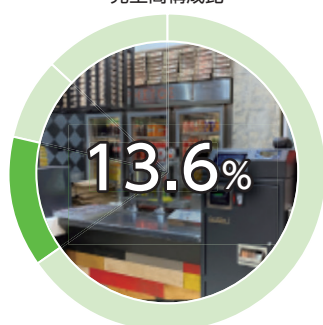
前年同期比  
3.2%減



紙幣識別機ユニット  
IZIVION®

### 海外コマーシャル

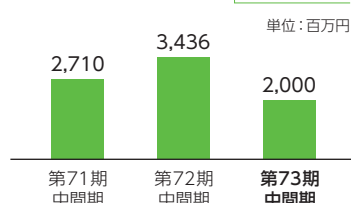
売上高構成比



売上高

2,000百万円

前年同期比  
41.8%減



#### セグメント別概況

- 欧州地域：大口顧客の在庫調整の影響により、紙幣還流ユニットの販売が減少
- アジア地域：交通市場向けの紙幣還流ユニットの販売が伸長
- 中南米地域：販路拡大に向けた先行投資を継続

セグメント利益

△561百万円

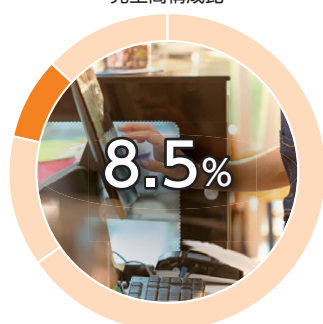
前年同期比  
—



紙幣還流ユニット  
MRX®

### 国内コマーシャル

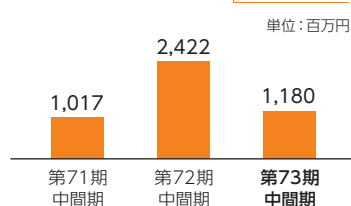
売上高構成比



売上高

1,180百万円

前年同期比  
51.2%減



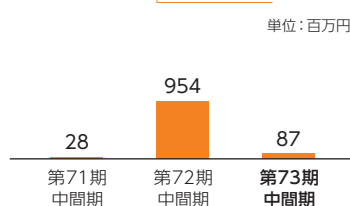
#### セグメント別概況

- 新紙幣発行に伴う更新特需の反動により、紙幣還流ユニットの販売が減少

セグメント利益

87百万円

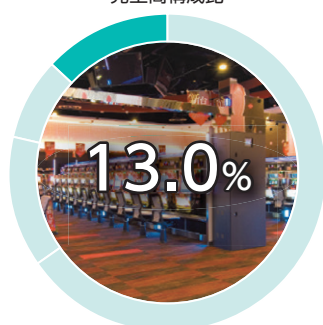
前年同期比  
90.8%減



硬貨還流装置  
CRU-06

### 遊技場向機器

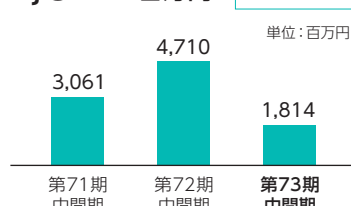
売上高構成比



売上高

1,814百万円

前年同期比  
61.5%減



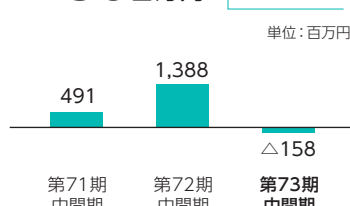
#### セグメント別概況

- 新紙幣発行に伴う更新特需の反動や、スマートパチンコの普及の遅れにより、主力製品の販売が減少

セグメント利益

△158百万円

前年同期比  
—



スマート遊技機専用ユニット  
V-REX3

※®は米国における登録商標です。

### 3 通期の見通し

当期の通期業績は、売上高・利益ともに期初予想どおりに推移する見込み

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
<b>31,000</b> 百万円	<b>1,400</b> 百万円	<b>1,000</b> 百万円	<b>3,200</b> 百万円

当期の通期見通しは、グローバルゲーミング市場では、米国関税の影響が限定的に留まる見通しであり、特に北米市場では引き続き良好な市場環境のもと、販売が安定的に推移していることから、当下半期においても業績全体の牽引役となることが期待されます。

海外コマーシャル市場では、アジア地域における交通市場向け製品の販売増加を見込むほか、中南米地域でもこれまでの精力的な営業・広報活動によって、少しずつではありますが販売実績に繋がりがつつあります。

また、国内の各市場でも、前期の新紙幣発行に伴う更新特需の反動が終息に向かうことで、徐々に販売状況も従来の水準への回復が見られるものの、当下半期は依然として厳しい状況が続くことを見込んでおります。

今後の当社グループのさらなる事業拡大や、安定した収益基盤の構築における最重要施策として位置付ける海外コマーシャル市場の北米・中南米地域での新規市場開拓に引き続き全力で取り組んでまいります。

### 4 株主還元

当期中間配当は1株当たり20円

当期の中間配当につきましては、下記の基本方針に基づき、期初の予想どおり普通配当1株当たり20円といたしました。

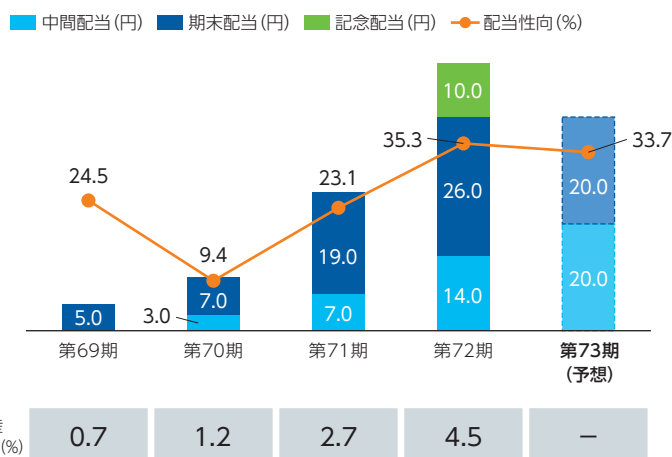
なお、期末配当につきましては、普通配当1株当たり20円を予定しており、第73期の年間配当金は、1株当たり合計40円、連結配当性向は33.7%を予想しております。

#### 利益還元に関する基本方針

成長戦略の実現による利益の拡大を通じた配当額の増加

株主の皆様への利益還元である配当の安定的な実施

連結配当性向30%以上を基本に、純資産配当率2%以上にも考慮して決定



### 5 2032年度の「ありたい姿」に向けて

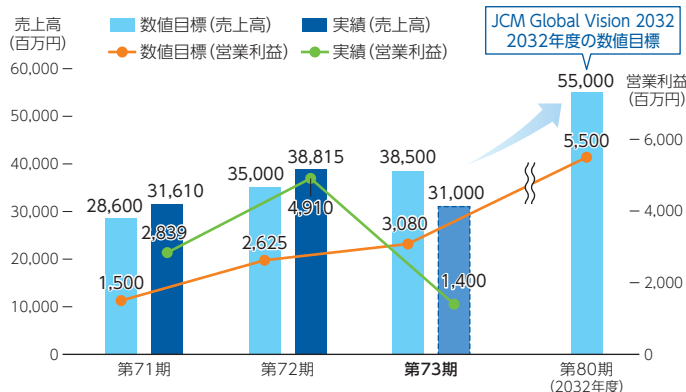
#### 2032年度のありたい姿

- ①多様化するマネートランザクション(代金決済)分野において、お客様へ信頼を提供し続ける企業であり続ける。  
⇒当社の強みである貨幣処理機器市場というニッチな市場で、高いシェアを獲得する
- ②新たな事業領域においてもブランドカンパニーたる地位の確立を目指す。  
⇒キャッシュレス時代に向け、新たなニッチ市場の獲得に挑戦する

当社グループは、2032年度の「ありたい姿」を見据えて、中期経営計画「JCM Global Vision 2032」を策定し、実行してまいりましたが、国内の新紙幣発行における更新特需の影響によって、前期は想定を上回る業績を計上いたしました。

しかしながら、その反動によって、期初に公表した当期の通期業績予想は、当計画において定めた数値目標を下回る見込みであることから、現在、市場環境の変化や新規事業開拓の進捗等を踏まえ、慎重に精査を実施しております。

改定後の計画作成が完了次第、速やかに公表いたします。





## 6 トピックス

### TOPICS

#### 1

### 新製品紹介 硬貨リサイクラー「UCR-800」

この度、当社グループは、硬貨リサイクラー「UCR-800」をリリースいたします。  
本製品は、流通市場向けのセルフ精算機への搭載をはじめ、様々な業種や業態において「導入のしやすさ」を追求した製品であり、以下の特長を備えています。

- コンパクトな設計で、限られたスペースにも柔軟に搭載可能
- 高速処理能力（一括払出3秒）と高機能（最大8金種対応）性を実現
- 取り外し可能なモジュール構造により、世界各国の硬貨への対応が容易
- 耐久性に優れた設計で、部品交換の負担を軽減し、運用管理コストの低減を実現

本製品は、先行プロモーションの段階で既に欧州地域を中心に、多数のお客様よりご好評をいただいております。今後は国内外問わず、コマーシャル市場への導入拡大が期待される製品であります。

当社グループは、今後、中期経営計画の「ありたい姿」を見据え、更なる事業成長に向けた新製品の開発等に取り組んでまいります。

#### 新製品 硬貨リサイクラー「UCR-800」



いずれも当社製品を採用していただくことで、より一層の現金処理・管理の効率化・最適化を実現!



※例：紙幣還流ユニット「MRX®」

### TOPICS

#### 2

### 海外展示会への積極的な出展 によるグローバル展開の加速



海外の展示会情報については

JCM Globalウェブサイト  
- The Americas Asia Pacific

JCM Globalウェブサイト  
- Europe Middle East Africa

※言語はいずれも英語となっております。

当社グループでは、さらなるシェアの維持・拡大を目指し、世界各国の展示会への出展を通じて、製品の認知向上に取り組んでおります。

本年10月に米国ラスベガスで開催された北米最大のゲーミング業界展示会「Global Gaming Expo (G2E)」では、当社製品「ICB® ASAP」が、カジノ施設のバックヤードにおける現金管理業務の省力化・自動化を実現する革新的技術として高く評価され、「Best Productivity-Enhancement Technology」部門にて第1位を獲得いたしました。

また、欧州ではドイツ・デュッセルドルフの「EuroCIS 2025」およびブルガリア・ソフィアの「BEGE 2025」にて、近日正式リリース予定の次世代紙幣識別機ユニット「UBA® Ultra」を出展いたしました。

さらに南米サンパウロでの「FEBRABAN TECH 2025」や、米国シカゴで開催されたコンビニエンスストア関連機器業界最大の展示会「NACS SHOW 2025」では、新製品「UCR-800」のプロモーションを実施するなど、当社の重要施策である海外コマーシャル事業の拡大に向けた取り組みを積極的に推進しております。

当社グループは、今後もこのような展示会や業界イベントへの参加を通じて、JCMブランドのさらなる認知度向上とグローバル市場での販路拡大に努めてまいります。



Global Gaming Expo (G2E) での「ICB® ASAP」展示の様子



「NACS SHOW 2025」での商談の様子



新東京本社入居ビル

### TOPICS

#### 3

### 東京本社移転



詳しい内容は  
当社ウェブサイト  
- 東京本社移転のお知らせ


当社グループは、中期経営計画で掲げる長期ビジョンの実現に向けて、資産の効率化や業務の生産性向上、ならびに従業員の働き方改革を目的として、本年7月に新たな賃貸オフィスへ移転いたしました。

新東京本社は、東京都港区に位置し、交通利便性の高い立地でもあり、業務効率の向上に加え、採用活動や従業員の働きやすさの面でも好影響が期待されます。

これを契機に、柔軟かつ効率的なオフィス運営体制の構築を進めるとともに、成長分野への戦略的な投資や、新たな価値創出に注力することで、企業価値のさらなる向上を目指してまいります。

# 会社概要&株式の状況 (2025年9月30日現在)

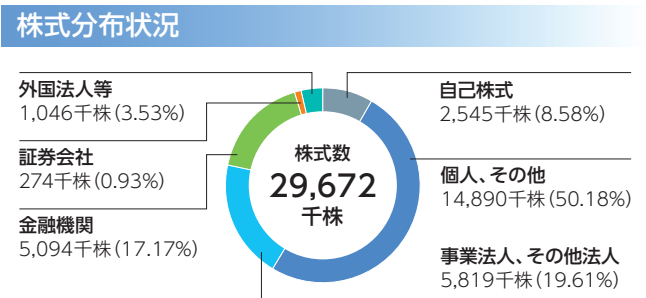
会社概要	
商号	日本金銭機械株式会社 JAPAN CASH MACHINE CO., LTD.
設立	1955年1月11日
本社	大阪市浪速区難波中二丁目11番18号
東京本社	東京都港区芝五丁目36番7号
資本金	2,220,316千円
当社グループ拠点	
(国内営業拠点)	大阪、東京
(海外営業拠点)	ラスベガス、ダラス(米国)、 サンパウロ(ブラジル)、 デュッセルドルフ(ドイツ)、 ミルトンキーンズ(英国)、シドニー(豪州)
(研究開発拠点)	大阪、東京、所沢(埼玉)、バンコク(タイ)
(生産拠点)	長浜(滋賀)、ラグナ(フィリピン)

取締役	
	取締役情報についてはホームページをご参照ください。 <a href="https://www.jcm-hq.co.jp/ja/corporate/outline/officer.html">https://www.jcm-hq.co.jp/ja/corporate/outline/officer.html</a>

株式の状況	
発行可能株式総数	118,000,000株
発行済株式の総数	29,672,651株
単元株式数	100株
株主数	24,622名

大株主(上位10名)		
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
上東興産株式会社	4,661	17.18
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,996	11.05
上東 洋次郎	1,466	5.41
上東 好子	638	2.35
株式会社りそな銀行	563	2.08
日本金銭機械従業員持株会	504	1.86
株式会社三井住友銀行	503	1.86
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	442	1.63
トーターエンジニアリング株式会社	432	1.59
日本生命保険相互会社	403	1.49

注) 持株比率は自己株式(2,545,490株)を控除して計算しております。



株主メモ	
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】 証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。	
単元株式数	100株
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル) 受付時間: 9:00 ~ 17:00 (土・日・祝日および12/31~1/3を除く)
(ホームページURL)	<a href="https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/">https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/</a>
【特別口座について】 株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていない株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。	
公告方法	電子公告により行う。ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行う。(公告掲載URL) <a href="https://www.jcm-hq.co.jp/">https://www.jcm-hq.co.jp/</a>
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場
証券コード	6418

株式に関する「マイナンバー制度」について	
市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きが必要となります。このため、株主様から、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。	
マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先	▶証券会社でお取引をされている株主様 お取引の証券会社までお問い合わせください。 ▶特別口座に記録されている株主様 上記特別口座の口座管理機関までお問い合わせください。

